

令和 6 年度 すくわくプログラム

2歳児クラスうさぎ組		報告者 飯塚 広華		
テーマ	音に合わせて身体で表現してみよう	スケジュール	日にち	令和6年9月2日
			時間	9：40～20分ずつ
			参加人数	2歳児7人ずつ×2グループ
ね活 ら動 いの	ピアノの音を聞いて、大きさや速さを自分の身体で表現して楽しむ。 いろいろな楽器を使い、動物になりきったり花を作って見せあい言葉に出して楽しむ。			
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・はじめて会う講師との活動なので、子ども達の好きな歌や手遊びで導入</li> <li>・ピアノに合わせて、ホールの中を歩いたり走ったり身体を動かす</li> <li>・手づくりマラカスや鈴、タンバリンを使い、先生の曲に合わせて、動物に変身したり、音を聞いて歩く、走る、ストップを耳と身体で表現してみる。</li> </ul>	準備品	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ピアノ</li> <li>・手づくりマラカス</li> <li>・スカーフ</li> <li>・鈴 ・タンバリン</li> </ul>	
子どもの様子	<p>・「アイアイ」の歌がかかると「おさるだ」「アイアイだ」と喜び、歌いながら自然と手でサル你真似をする子もいた。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>・講師が袋の中から何かを出そうとすると、前のめりになり、何が出てくるのかわくわくした様子だった。手作りのシアターが出ると先生の問いかけに答えていた。</p> <p>・歩く速さの曲は歩き、走る速さの曲は走る動作を繰り返すが、「音が鳴らなかったら止まる」を理解し、体幹を使ってストップできる子もいた。</p> <p>音に合わせて、スカーフで花を作り、大きさや色を言葉に表していた。</p> <p>・1人でのリズム打ちから、2人組になりタンバリン、スズを使い、音を聞き分けてリズム打ちしていた。</p>			
保育士の気づき	それぞれ、年齢によって音の聞き方は違うが、音の速さやリズムの違いは理解しているように見えた。初めての試みだったので、お互いに緊張感があったが、子ども達は音の速さやをすぐに身体で表現し友達の動きを見て笑いが出たり、楽しんだりしていた。先生の持ってきてくださった教材に興味津々で出てきた動物等に大喜びだった。音を聞いて身体で表現する楽しさと、対話しながら音を感じる楽しさ、静と動を使い分けることで、子どもの表情の違いなどを、観察することができた。			